



スケートボーダー 赤間 凜音 (アカマ リズ)

中学生のみなさん、スケートボーダーの赤間凜音です。私も2年前はみなさんと同じ中学生でした。昨年はスケートボード女子ストリートという競技で、念願であったパリ五輪に出場し銀メダルを獲得することができました。多くの方々からの応援に、とても勇気づけられました。本当にありがとうございました。

私は7歳からスケートボードを始めました。怪我なども多く、これまで何度も夢を諦めそうになりました。しかし、「必ず世界一になる」という7歳のときに誓った目標に向かい、今も技術を高めるために練習を続けています。みなさんもどんなことでも目標を持ち、少しずつ努力を積み重ねていけば、必ず目指す形に近づいていくと思います。

一緒に夢に向かって頑張りましょう！



○赤間 凜音

宮城県仙台市出身。地元仙台で7歳よりスケートボードを始める。2021年日本スケートボード選手権で優勝。2024年パリオリンピックのスケートボード女子ストリートで銀メダルを獲得。Liz (リス) の愛称で、世界中のスケートボーダーから注目される一人。現在、東北高等学校に在籍する現役高校生。「宮城県特別表彰」「仙台市賛辞の盾」「河北文化賞」などを受賞。



一君が宮城でやりたいことー
おしごとBOOK 25



宮城・仙台出身の

プロサッカー選手 (ベガルタ仙台) 郷家 友太 (ゴウケ ユウタ)

夢を持ち始めて、その夢を追いかける中、不安や挫折を感じることもあると思います。僕もこれまで何度も「もうダメだ」と思ったことがありました。周りには自分よりもうまい選手がたくさんいて、「勝てない」と悔しい思いもしました。でも、その悔しさをバネに一歩ずつ努力を重ねて、少しずつ成長を実感できる瞬間があり、その積み重ねが今の自分につながっています。

どんな夢でも、一歩ずつ努力を続けることが大切です。すぐに結果が出なくても、毎日の積み重ねが未来につながるの、最後まで自分を信じて挑戦し続けてください。どんな道でも、努力は必ず意味のあるものになります。今、僕はプロサッカー選手として、地元・宮城を盛り上げたいという思いで戦っています。

いつか一緒に宮城を盛り上げられたらうれしいです。これからも、みんなの夢を応援しています！



○郷家 友太 MF #11

1999年6月10日生まれ。宮城県多賀城市出身。鶴ヶ谷SSSでサッカーを始め、ベガルタ仙台ジュニア、ジュニアユースを経て、青森山田中・高に進学。全国有数の強豪校で、全国高校サッカー選手権大会で優勝を果たした。高校卒業後にヴィッセル神戸に加入。2023年にベガルタ仙台へ加入し、2025年は主将を務める。



©VEGALTA SENDAI

